

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	リハリハキッズ Powers			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ~ 2025年10月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2025年10月1日年 ~ 2025年10月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他職種が連携して、それぞれの専門性を活かして個別的な支援の提供に取り組んでいる。	個別計画書に基づいて、日々の支援内容を掲示し実践している。また、利用児の様子を保護者に動画や写真などでお伝えし、安心感や成長した様子をお伝えしている。	・リハビリに関しては実践した内容をより具現化するために専門的支援計画を立案し、保護者により分かりやすい支援内容の提供と利用児の成長に貢献していきたい。 ・保護者会の定期開催（保護者の期待に沿う内容で）
2	医ケア児に対して看護師二人体制で運営	・個々の詳細な状況を把握し、保護者様や医療関係と連携を密にする。 ・医ケア児の処置や申し送りなどを適宜行い、スタッフ全員で共有 ・救急訓練を月一回実施	・看護師同士で看護技術の困りごとや対策を共有する。
3	スタッフの人間関係が良いので明るい時間を過ごせる。	・スタッフ間のコミュニケーションを意識的に図っている。	・スタッフ間のコミュニケーションを良好に保ちよい職場風土継続させる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流が少ない	・地域交流の場があるが、計画実行に至っていない。	・計画的な地域交流を実施する（祝日など活用）
2	・室内スペースが狭い	・物品が多い。（使用していないものが多い）	・日頃から整理整頓に努め、不要なものは適宜廃棄するなど環境整備を行う。 ・屋外でのリハビリやお散歩でのびのびと過ごせる時間を持つ。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名	リハ・リハキッズ Powers
------	-----------------

公表日 2025年12月22日

利用児童数 4名

回収数 2名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2				リハビリの先生が訓練してくださるので、家では上手に出来ないの助かります。	リハビリをお伝えできるように動画等を活用し
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容がこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1			1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				2		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				利用前に丁寧な説明を受け、安心しました。	引き続き安心して、利用して頂けるよう丁寧な説明を心掛ける。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				2	まだ通う意初めて数ヶ月の為、研修会などがあるのか分かりません	家族支援に関してはまだ取り組みができていない現状。今後、支援についての知識を深めて、開催していきたい。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2				子どもの健康状態など共有出来て、心強いです。	引き続き、健康状態発達に関する情報提供や相談事に耳を傾けていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				2	まだ通い始めて浅いので、交流があるなど認識していないです。	年内に保護者会開催予定。計画的に定期開催が出来るようにすることが課題。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				預けている時の様子など連絡して頂けるので安心します。	利用されている状況を連絡帳や動画で保護者にお伝えする。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
主	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					

常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1		毎月のおたよりに発信していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					毎月のおたよりに発信していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2				家とはまた違がう場所だけど、安心して自分の感情を出して良いと理解しているようです。	利用児や保護者が安心して利用できるように環境とスタッフの志を高く保ち今後も対応していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				凄く助けてもらっています。大満足です。	今後も良い支援が提供できるように研鑽していく。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		事業所における自己評価結果（児童発達支援）				
		公表日 2025年12月22日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	レイアウトを工夫してスペースを確保している。	医療的ケア児と活発に活動する児がそれぞれ安全にすごせるように、目配りとレイアウトの工夫を引き続き行う。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	担当制にして、安全に過ごせるようにタイムスケジュールを共有する。	職員の配置調整を徹底する。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	おもちゃの場所を写真で提示、物の位置を固定する。	引き続き視覚と言葉で伝えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	環境整備に努めていく、清潔で安全・快適な環境を整えていく。温度設定なども利用児の体調に合わせて対応していく。	定期的な大掃除と環境整備を行う。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	排泄や更衣は個人のプライバシーが守られるように環境を整えて対応していく。	集中して作業をする個室の確保が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	日々の業務で気になることを、スタッフ間で情報共有し、ミーティングを活用して目標確認と振り返りをする。	引き続き、実施し、行動レベルまで落とし込んでいく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者の思いをスタッフ間で情報共有し、改善に向けての話し合いを行う。	目標設定、振り返り、行動レベルに移すを繰り返し実践していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	個々の意見は発信しやすい環境であり、改善に向けて、実践していく。	実践後の振り返りを行い、評価、実践の繰り返しを行う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	第三者からの意見を聞いて、改善に繋げている。	模擬実施指導や外部との連携の評価を中心、評価を受ける機会を作る必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月実施している。	引き続き参加し、研鑽に努めていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	期限までに公表する。	作成内容の見直しを丁寧に行う。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	面談と日々の関わりの中で、保護者と利用児の目標・希望に支援できるように作成する。	日々の変化や気になることなどをタイムリーに保護者と情報共有していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	日々の関わりの中で利用児に関する情報共有を行い、定期的なカンファレンスにより具体的な支援策を考案していく。	利用児に関わるスタッフ全員でカンファレンスが行えるように調整していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	個別支援計画書に基づいた日々のプログラムの情報共有をする。	利用児の体調と反応に合わせて、変更修正できるようにする。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	標準化されたツールがない。	今後検討が必要。
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	児童発達支援管理責任者を筆頭に、全スタッフで明確に同じ支援が行えるように表記していく。	全スタッフが支援できるように明確に表記していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	個別支援計画書に基づいて、その日の活動プログラムをスタッフが考えていく。	活動内容に変化を持たせて、利用児がたのしめることを大切にしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	季節の変化を感じられるように、プログラムに取り込んでいく。	スタッフ間で案を出し合って、たのしめる内容を考案する。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	面談の前後でカンファレンスを行い、適切な支援の考案に努めていく。	利用児の体力の差はあるが、集団で活動できる内容を考案する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	前日にプログラムを作成し、情報共有する。	当日になってから情報共有できていない時がないようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	送迎後、日々の振り返りを行う。	当日に出来ない時は、翌日に行い、周知する

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録は実施できている。	検証・改善にかんしては、日々の振り返りで実践していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	面談前はモニタリングを実施する。	前回の計画書と現状を照らし合わせて見直し、修正を行う。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	日々関わるスタッフが参画できるようにする	日程調整を行っていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	オープンな姿勢で、日々、関係機関と支援に繋がる情報共有を行う。	引き続き実施。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	見学させてもらい、情報共有に努める。	見学できる機会を増やしていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	困りごとや不安材料が少しでも減らせるように情報共有と支援内容の相互理解に努める。	計画的に情報共有が出来るようにする。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイスや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	連携機会が少ないため、増やしていく必要がある。	助言を受ける機会が少ない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	近隣に無いため、機会が乏しい。	計画的に交流の場を増やしていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や必要に応じてお話しする。	保護者にご利用中の利用児の様子をこまめにお伝えし、保護者様の意見をしっかり聞く。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	紙面で情報提供している。	今後も保護者様のニーズに応えられるように情報提供を行う。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	丁寧に行うように心がけていく。	引き続き分かりやすく丁寧に行う。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	日々の様子をLINEや送迎時にお伝えする。	引き続き日々の成長をお伝えしていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	面談後、速やかに紙面にてお伝えし、同意を得ている。	保護者様や利用児の目標に合わせた内容で成長をサポートできるよう計画書をわかりやすく作成していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	日頃から困りごとなど、保護者様から相談しやすい環境を整える。	相談ごとには真摯に向き合い、速やかに対応していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	兄弟同士での交流の場に向けて話し合う。	日程調整が難しい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		しているが、出来ていないスタッフがいる。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4		指示書が無い。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	リハ・リハキッズ Powers		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ~ 2025年10月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年10月1日 ~ 2025年10月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別計画書に基づいた支援プログラムの実施と現状を保護者にこまめにお伝えしている点。	・支援内容を明確に提示し、連絡帳や動画などで保護者様にこまめに報告している。	・今後はSNSでの発信の充実を図り、現状よりさらなる向上を目指し、専門性を発揮した支援に努めていく。 ・保護者会の定期開催（保護者の期待に沿う内容） ・個別計画書立案の際に、相談員や他事業所と連携し、情報共有し、より各々に適した支援内容を提供していく。
2	・リハビリに特化している点。	・専門職がそれぞれの特性を発揮できるように定期的なミーティングを実施し、反映させている。	・リハビリに関しては実践した内容をより具現化するために専門的支援計画を立案し、保護者により分かりやすい支援内容の提供と利用児の成長に貢献していきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・定期的な保護者会の開催が出来ていない。		・保護者会の定期開催を実施する（保護者のニーズの把握）
2	・オムツ交換スペースに限界があることや子ども用のトイレの環境が不十分。	・環境整備	・環境整備に関しては、今あるもので、清潔に過ごせるように取り組んでいく
3	・地域交流が少ない	・地域交流の場があるが、計画実行に至っていない	・計画的な地域交流を実施する（祝日など活用）

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）							
事業所名	リハ・リハキッズ Powers						
公表日 2025年 12月 22日							
		利用児童数 12名					回収数 6名
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	0	0	室内の環境整備を適宜行うようにする。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1	0	0	直接見ていないので分からず。安全に利用して頂けるように職員配置の調整に努めていく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1	0	0	動線を考え室内配置する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0	清潔に安全に、心地よく過ごせる環境を提供していく。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	6	0	0	0	個別支援計画書に基づいた支援を提供する。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0	私とのコミュニケーションをとって下さるので、デイでも予想以上の事を体験させて頂けて感謝です。面談の時は特に日頃の様子をやり取りしながら、保護者様の周りごとなどもしっかり傾聴できる用の今後も努めていく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	0	0	0	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	0	0	4	2	近隣に交流できる施設が無いため機会を作れるようにする。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0	契約および面談時などに丁寧に説明を行っていく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	0	1	0	情報提供を発信できる体制づくりをする。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	6	0	0	0	今後も利用児の状況を丁寧に説明していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	1	4	定期的な保護者会の開催を行う。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	0	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1	0	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0	
非	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	0	0	毎月のおたよりに発信する。

常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	1		毎月のおたよりに発信する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	リハ・リハキッズ Powers				公表日 2025年12月22日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	医療的ケア児と児童、放ディの児童のスペースを分けて、安全確保に努めている。部屋のスペースが狭いため、活動的な児童と安全確保が十分に必要な児童を離すなどしている。	不要物や使用しない物の整理を適宜行う。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	曜日交代したり、出勤可能なスタッフの調整	応援体制の連携。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	意見交換を行い、実践に移す。	動線を考えて、安全に利用児に会う環境にする。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	活動の場所とプライバシーを守る場所を適切に保つ。	スタッフの手洗いのタイミングを考慮する。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	集中力の問題で別室を利用したいが、スペースが無くて難しい。	児童の集中力散漫になる時に別室を使用したいが、スペースがなく難しい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	限られた時間内で出来るようにする。	一日の終わりに時間を持つ
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	スタッフ間にて共有する時間を作る。	意向に沿える内容を業務改善して、評価してみる。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	定期的に面談を行い、スタッフの意見や困りごとを理解する。	スタッフの意見や困りごとを業務改善につなげられるようにみんなで考えていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		模擬実地指導を行っている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	毎回スタッフ間で話し合う時間を作る。	話し合った結果と分析が支援計画書に添えるように意見をたくさんいたくようにしている。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	個別計画書にもとづいた支援プログラムを掲示し、取り組む。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		今後活用していきたい。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	当日か翌日にスタッフ間で振り返りを行い、次の支援に活かすようにする。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	対象児なし。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	定期開催が出来ていない。	計画的な定期開催をしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	厳重に注意する。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	指示書なし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		